

No. 1-7

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 01 - 7

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 6		作成日 27年 4月 20日	
事務事業名		北勢線事業運営事務				シート作成部署	
総合計画上の位置付け	基本施策	1 安全・安心なまち		課名	政策課	係名	政策係
		1-2 住みやすいまちをつくる		シート作成者			
	施策	1-2-2 道路・公共交通網の整備		予算費目	会計	一般	
					款	2	
主要施策	④ 公共交通機関の充実		項		1		
			目		12		
個別計画名							
住民との関わり		施策・事業評価における住民の意見の反映					
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）				
	住民		住民の身近な移動手段として効率的な運営を行ない利用増を目指す。				
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		沿線市町が北勢線の運営維持に要する費用等を支援することで北勢線の安定した運営を確保するとともに鉄道事業者と沿線市町が協議会として連携し利用促進等を図る。				
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 14年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等		北勢線事業運営協議会規約 東員町三岐鉄道北勢線事業運営維持費補助金交付要綱					
		平成25年度（決算）		平成26年度（決算）		平成27年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B		49,634		49,634		50,879	
財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
	県支出金	0		0		0	
	地方債	0		0		0	
	その他特定財源	0		0		0	
	一般財源	49,589		45,596		48,233	
直接事業費（千円）A		49,589		45,596		48,233	
人件費（千円）B		4,038		4,038		2,646	
内訳	一般職員（人・千円）	0.39 人	2,574	0.59 人	3,894	0.39 人	2,574
	臨時職員（人・千円）	0.04 人	72	0.08 人	144	0.04 人	72
成果指標	成果指標名		単位	26年度		27年度	28年度
				目標	実績	（目標）	（目標）
	①	北勢線利用者数	人	↑	2,438,911	↑	↑
	②	◆公共交通機関（三岐鉄道、路線バス、コミュニティバス）の利便さについての満足度	%				
③							
説明	利用者数は三岐鉄道北勢線月別乗車人員資料から把握する。利用者増により営業の黒字化を目指す。平成25年度実績2,467,389人 平成26年度は28,478人減少した。 ◆は平成27年度にアンケートを予定している。						

事業名	北勢線事業運営事務	シート作成課	政策課
-----	-----------	--------	-----

一次評価者	政策課長	二次評価者	企画部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
<b>必要性</b>	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 <input type="checkbox"/> 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 <input type="checkbox"/> 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 <input type="checkbox"/> 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 <input type="checkbox"/> 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 国や県のサービスと重複している。 <input type="checkbox"/> 7. 民間のサービスと競合している。 <input type="checkbox"/> 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	北勢線は沿線住民（特に高齢者や学生等の移動制約者）の移動手段として重要な鉄道です。沿線市町のH15年度から10年間の支援が終了し、さらにH27年度まで3年間の支援が決定しています。	
<b>有効性</b>	<input type="checkbox"/> 1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 <input type="checkbox"/> 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 <input type="checkbox"/> 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 <input type="checkbox"/> 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	地方鉄道の存続は沿線市町のまちづくりにも大きく関わります。2市1町と三岐鉄道が連携し、様々な取り組みを積み重ねることが重要であると考えます。	
<b>達成度</b>	<input type="checkbox"/> 1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標を達成していると思う。 <input type="checkbox"/> 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	平成26年度の輸送人員は前年度と比べ28,478人減少し2,438,911人でした。（平成25年度はイオン東員のオープンと消費税増税前の定期券のかけ込み購入により大幅増でした）また平成15年度は5.4億円の赤字でしたが、平成26年度は、2.98億円まで赤字を減らすことができました。	
<b>効率性</b>	<input type="checkbox"/> 1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 <input type="checkbox"/> 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 <input type="checkbox"/> 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 <input type="checkbox"/> 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 <input type="checkbox"/> 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 <input type="checkbox"/> 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	北勢線の存続には行政支援が必要ですが、現在の支援額や協議会活動が最も効率的であるかは常に検証すべきです。	

**本事務事業の実施適切性の説明**

北勢線は年間240万人強の利用があることから住民の重要な移動手段であり、公共交通として行政が支援する必要があります。

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
今後の改革・改善目標	北勢線は地域の公共交通としてなくてはならない鉄道です。100周年の節目を迎え、平成26年度は多くの民間団体やメディアが北勢線にまつわる活動等に貢献していただきました。しかし現在も赤字は解消されず運営が厳しい状況であることに変わりはありません。三岐鉄道(株)の更なる運営努力と市町の利用促進が必要です。					

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
コメント	三岐鉄道(株)の自助努力は当然ですが、市町による運営支援も必要です。まちづくり等大きな視点で北勢線を全国的に売り出す企画立案等も求められます。					

二次評価に対する課の考え方						
---------------	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する	
------------	------	----	------	---	------------	--